



●Answer
 沖繩市・コザ山仁王院 球陽寺
 (コザ本願寺)
 前住職 帰依 龍照

お菓子を畳の上に置く意味

Q わが家は、兄弟姉妹が多く、それぞれが法事のお菓子を持ち寄るため、毎回、仏壇のテーブルに乗らないほどいっぱいになり、おばさんたちから「乗らないのはテーブルの下に置きなさい」といわれます。畳は人が足で踏む場所ですから、よくないのではないのでしょうか？
 (園納村・Tさん・40代・女性)

A ご法事や年中行事で、お仏壇へお供えするムイグワシという沖縄のお菓子には2種類があるといわれています。一つは、ご当家が準備して故人様にお供えする十二業菓子(ジュウニゴウグワシ)、もう一つは、兄弟姉妹などのご親族が準備してウヤファーフジやジーチヌカンにお供えする御膳菓子(ウジングワシ)です。
 十二業菓子は、盛り合わせた菓子がそれぞれ故人様の大切なお身体やお食事を表現しているといえます。また、御膳菓子は、和菓子・洋菓子の品々から、故人様だけでなく、ウヤファーフジのご先祖様や、お仏壇を土地からお祀り支えてくださったというジーチヌカンという土地の神様へのお菓子を表現しているといえます。
 御膳菓子を畳の上に置く
 ヒジャイヌグワン(しきたり)

体などを表現する十二業菓子は、故人様に少しでも近くなるよう、メージユク(前卓)というお仏壇のテーブルの上に置くことになっていきますので、畳の上に直接置くことはありません。
 今回、おばさんたちから「畳に置きなさい」といわれたムイグワシは、御膳菓子のことだと思えます。その理由は、御膳菓子そのものが、ジーチヌカンという、畳を介して土地にお供えする、敬いのお菓子だといわれているからです。

お菓子を畳の上に置かれたとき、お仏壇の正面に向かって右側に置かれたのではないのでしょうか。この場所は、ヒジャイヌグワンという、ジーチヌカンを敬う大切なポイントだといわれています。一見、畳の上でするので、人が足で踏む場所でもあります。そこは私たちが土地から見守ってきたさつているジーチヌカンの居場所、感謝すべき場所でもあるということ。また、畳の縁もジーチヌカンの居場所といわれており、目上の方々がよくおっしゃる「畳の縁を踏んではいけない」という教訓は、畳の縁を境目として客人と主人の上座や下座を表現するだけではなく、そのような意味からも言い伝えられているといえます。ぜひ、次世代に伝えたいジンブンの一つですね。

1万円札そっくりのウチカビ

Q 1万円札そっくりのウチカビを10枚ほどお供えしたら、おバアに「おジイがいるグソーには通らんよ」と叱られてしまいました。おジイには、あの世でお金持ちになってもらいたいので、次回も使おうかと思っていますが、いかがでしょうか？(宜野湾市・Mさん・40代・女性)

A 沖縄では、一般的なウチカビは、紙銭(カビジン)＝後生銭(グソージン)という、グソーのお金と考えられています。一方、とある1万円札そっくりのウチカビには、『琉球冥界銀行』と記載されています。この『冥界(めいはい)みょうかい』とは、専門的には、六道の迷いの世界のうち、地獄・餓鬼・畜生、特に、苦しみの最たる象徴である地獄を表現する言葉だといわれています。
 つまり言い換えれば、とある1万円札そっくりのウチカビは「地獄のお金」であるということになります。実は、沖縄のしきたりに詳しい先生方からも同じようなご指摘が寄せられています。まして、地獄のお金ということ、受け取るべきおじいちゃん、グソーに成仏しているのではなく、地獄に堕ちているということになるのではとのご意見です。もしかしたら、この点をおばあちゃんにご存じな方もおられないかもしれません。大切なお

じいちゃんが地獄になって、考えたくもないですよ。1万円札にそっくりのウチカビの長所

この1万円札にそっくりのウチカビですが、長所としては、燃やしやすいつか、よい香りがするとかで人気商品でもあるとのこと。Mさんの質問は、次回も使用されることが前提ですね。沖縄では、中心的な儀式を後に持つてくるという考え方がありますので、事前におばあちゃんのご承諾を得て、先にこの1万円札そっくりのウチカビを炙り、その後一般的なウチカビを炙られてはいかがでしょう。地獄にもグソーにも、両方にお金を送られることは、大切なおじいちゃんのご供養のみならず、沖縄の「施餓鬼」という、地獄や餓鬼の世界にも施す、とてもありがたいご供養になるかと思えます。



帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年、岡山県出身(53歳) / 学歴: 岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒 / 専門分野: 哲学(宗教哲学) / 沖縄県宗教研究会・理事長 / FMコザ・ラジオパーソナリティ / 新刊『琉球・沖縄の仏教・浄土真宗 実践講座④・⑤』『琉球・沖縄の仏壇・墓 百科事典(上巻・下巻)~葬式・法事・年中行事の作法・心得 ハンドブック①・②~』令和4(2022)年7月発売予定

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。